

田辺三菱製薬株式会社

2012年度第2四半期 決算概況

(2012年4月1日～2012年9月30日)

2012年10月29日

取締役常務執行役員

小酒井 健吉



田辺三菱製薬

2012年度第2四半期 決算概況

(平成25年3月期)



2012年度第2四半期 決算概況

	2012年度	2011年度	増減		上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,038	2,003	+34	+1.7	2,030	100.4
売上原価	792	744	+48	+6.5	765	103.6
売上原価率	38.9%	37.2%			37.7%	
売上総利益	1,245	1,259	-13	-1.1	1,265	98.5
販管費	923	898	+24	+2.7	985	93.7
営業利益	322	360	-38	-10.6	280	115.2
経常利益	331	363	-32	-8.9	280	118.3
特別損益	-24	-32	+8		-35	69.8
四半期純利益	194	199	-4	-2.4	150	129.9

※上期予想：2011年度決算発表時(2012年5月8日)公表

事業別売上高

【2012年度第2四半期 決算概況】

	2012年度	2011年度	増減		上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,038	2,003	+34	+1.7	2,030	100.4
（うち海外売上高）	(184)	(131)	(+52)	(+39.7)	(170)	(108.4)
医薬品事業	2,007	1,954	+53	+2.7	1,995	100.6
国内医療用医薬品	1,766	1,756	+9	+0.5	1,775	99.5
海外医療用医薬品	101	91	+10	+11.1	95	107.0
一般用医薬品	28	28	0	-2.7	30	93.6
医薬品その他	111	76	+34	+45.1	95	117.3
その他	30	49	-18	-37.4	35	88.4

医療用医薬品 主要製品売上高

【2012年度第2四半期 決算概況】

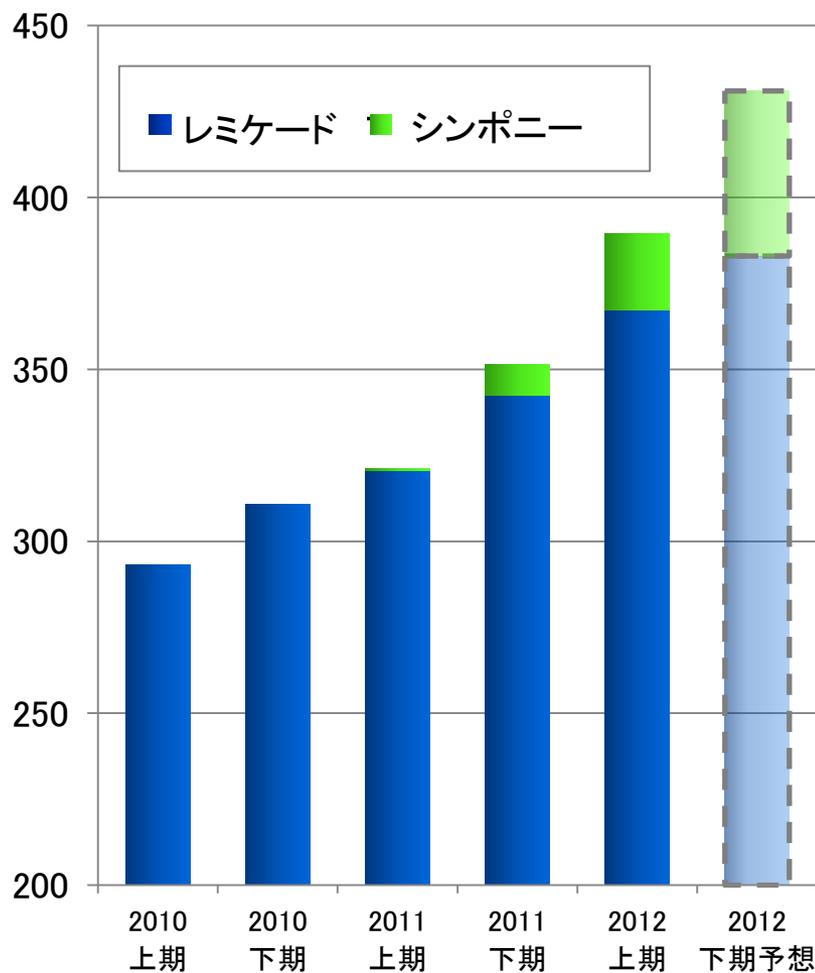
New Value Creation



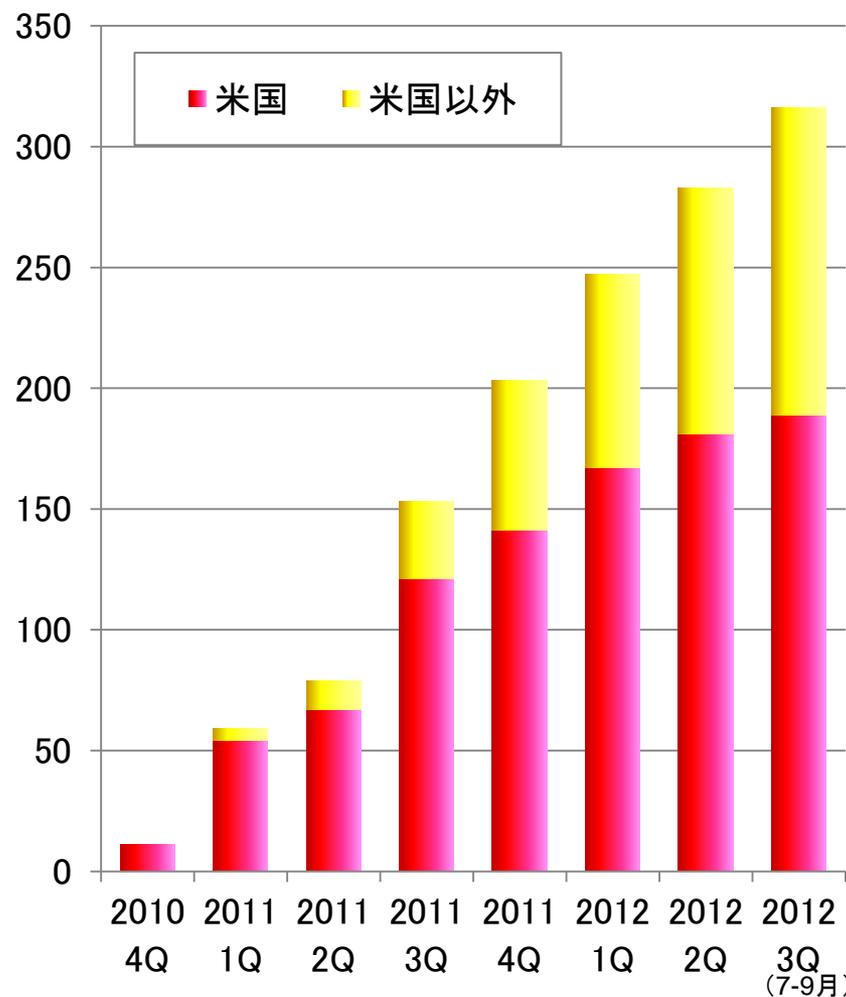
		2012年度	2011年度	増減		上期予想	進捗率
		億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品		1,766	1,756	+9	+0.5	1,775	99.5
重点製品	レミケード	367	320	+46	+14.6	370	99.2
	メインテート	69	65	+3	+5.8	70	99.6
	クレメジン	60	61	-1	-2.9	60	100.1
	タリオン	52	53	0	-0.7	60	87.9
新製品	テラビック	34	-	+34	-	35	99.1
	シンポニー	22	0	+21	-	20	111.4
	レクサプロ	16	4	+12	+279.7	20	83.1
ワクチン		126	151	-25	-16.5	130	97.1
(ミールビック)		(54)	(62)	(-8)	(-13.7)	(60)	(90.3)
(ジェービックV)		(35)	(48)	(-13)	(-27.1)	(35)	(102.1)
(インフルエンザ)		(15)	(23)	(-8)	(-34.3)	(20)	(76.7)
田辺製薬販売取扱品(注)		90	82	+8	+10.6	85	106.8
技術導出契約金等		73	29	+44	+154.2	60	122.9

注：ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

億円 レミケード・シンポニーの売上高推移



(USD m) 全世界でのジレニア売上高推移



新製品の状況

■ テネリア(2型糖尿病治療剤) 2012年9月発売

- ・ 製品特性
 - 1日1回投与により、朝食後から夕食後までの食後高血糖を改善
 - 肝臓・腎臓より2ルートで消失
- ・ 第一三共との戦略的販売提携(MR4,000人体制)
- ・ 発売初月の売上は順調な立ち上がり

■ テラビック(C型慢性肝炎治療薬) 2011年11月発売

- ・ 適正使用情報の提供を徹底し、全例調査の契約・症例登録は着実に進展 2012年9月30日現在
- ・ 9月26日以降、調査票記載を伴わない登録のみの調査に切り替え

契約施設数	登録例数
828	6,907

■ シンポニー(関節リウマチ治療薬) 2011年9月発売(ヤンセンファーマと共同販売)

- ・ 4週間に1回の投与と高い有効性、治療の継続性が評価され、競合品と比較し、順調な市場浸透
- ・ 投与患者数は両社で約5,000人(当社推定)

■ レクサプロ(抗うつ薬) 2011年8月発売(持田製薬と共同販売)

- ・ 2012年8月より投薬期間制限解除
- ・ 投薬期間制限解除後の売上は解除前に比べ3割増
 - 9月度売上6.3億円(薬価ベース)、市場シェア6%台と着実に拡大

* 売上、シェアともに持田製薬との2社合計、市場シェアは新規抗うつ薬市場におけるシェア

売上原価・販管費

【2012年度第2四半期 決算概況】

	2012年度	2011年度	増減		上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	2,038	2,003	+34	+1.7	2,030	100.4
売上原価	792	744	+48	+6.5	765	103.6
売上原価率	38.9%	37.2%			37.7%	
売上総利益	1,245	1,259	-13	-1.1	1,265	98.5
販管費	923	898	+24	+2.7	985	93.7
研究開発費	342	335	+6	+2.0	380	90.1
人件費	259	259	0	+0.2	260	99.9
のれん償却額	50	50	0	-0.1	50	101.3
その他	270	253	+17	+6.8	295	91.7
営業利益	322	360	-38	-10.6	280	115.2

營業外損益・特別損益

【2012年度第2四半期 決算概況】

New Value Creation



	2012年度	2011年度	増減		上期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	322	360	-38	-10.6	280	115.2
営業外損益	8	3	+5			
経常利益	331	363	-32	-8.9	280	118.3
特別利益	12	-	+12		-	-
固定資産売却益	6	-	+6			
事業譲渡益	3	-	+3			
特別損失	36	32	+3		35	104.1
事業統合関連損失	22	-	+22			
投資有価証券評価損	7	0	+6			
減損損失	3	29	-26			
四半期純利益	194	199	-4	-2.4	150	129.9

2012年度 通期業績予想

(平成25年3月期)

2012年度 通期業績予想修正

	2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減		2012年度 (期初予想)
	億円	億円	億円	%	億円
売上高	4,250	4,071	+178	+4.4	4,290
売上原価	1,670	1,522	+147	+9.7	1,650
売上原価率	39.3%	37.4%			38.5%
売上総利益	2,580	2,548	+31	+1.2	2,640
販管費	1,880	1,858	+21	+1.2	1,940
研究開発費	700	702	-2	-0.3	720
営業利益	700	690	+9	+1.4	700
経常利益	710	687	+22	+3.3	700
特別損益	-50	-49	0	-	-40
当期純利益	405	390	+14	+3.8	405

※期初予想：2011年度決算発表時(2012年5月8日)公表

医療用医薬品 主要製品売上高予想

New Value Creation



【2012年度 通期業績予想】

		2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	増減	
		億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品		3,690	3,554	+135	+3.8
重点 製 品	レミケード	750	663	+86	+13.1
	メインテート	150	136	+13	+9.6
	クレメジン	125	116	+8	+7.3
	タリオン	150	133	+16	+12.4
新 製 品	テラビック	85	14	+70	+471.6
	シンポニー	70	9	+60	+634.5
	レクサプロ	55	12	+42	+337.9
ワクチン		295	288	+6	+2.4
(ミールビック)		(80)	(95)	(-15)	(-16.2)
(ジェービックV)		(60)	(71)	(-11)	(-16.0)
(インフルエンザ)		(85)	(90)	(-5)	(-5.9)
田辺製薬販売取扱品(注)		190	174	+15	+8.7
技術導出契約金等		155	95	+59	+61.5

注：ジェネリック医薬品その他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含む

■ 配当方針

- ✓ 当社は、将来成長のための投資を積極的に実行することにより企業価値の増大を図るとともに、安定的、継続的に株主還元を充実させていくことを基本方針としている
- ✓ 中期経営計画11-15期間では、利益成長に加え、連結配当性向50%（のれん償却前の連結配当性向40%）を目処に引き上げ、株主還元を拡充する

	2010年度	2011年度	2012年度 中間	2012年度 (予想)
年間配当金	28円	35円	20円	40円
配当性向 (のれん償却前)	41.6% (32.9%)	50.3% (40.0%)	- (-)	55.4% (44.4%)

開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-teal gradient, starting as a solid blue line on the left and fading into a light teal on the right.

開発パイプラインの進捗状況(1)

New Value Creation



2012年度第1四半期決算発表時点(2012年7月31日)からの主な変更点

国内新製品

◆ テネリア (DPP-4阻害剤)

2型糖尿病

販売開始 (9月)

◆ テトラビック皮下注シリンジ

(BK-4SP / 沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン)

百日せき、ジフテリア、破傷風及びポリオの予防

販売開始 (10月31日予定)

※製造販売元: 阪大微生物病研究会

海外での進展

◆ シンポニー (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤)

関節リウマチ、乾癬、強直性脊椎炎

インドネシア販売開始 (9月)

◆ ビンドレン (MCI-196 / リン吸収阻害剤)

高リン血症

欧州CHMPによる承認勧告 (9月)

開発パイプラインの進捗状況(2)

2012年度第1四半期決算発表時点(2012年7月31日)からの主な変更点

New Value Creation



臨床試験の進展

効能追加・用法用量の変更

- ◆ **レミケード**(抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤)
乾癬(増量) 国内フェーズ3 (9月)
- ◆ **メインテート**(選択的 β 1 遮断剤)
慢性心房細動 国内申請 (9月)

導出品(導出先:マルホ)

- ◆ **TA-7906** (PDE4阻害剤)
アトピー性皮膚炎 国内フェーズ2 (9月)

その他

- ◆ **コラテジェン**(HGF遺伝子治療薬)
アンジェスMGと米国における末梢性血管疾患を対象とした
販売権許諾契約を締結(10月)

*New **Value** Creation*

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

(参考) 国内パイプラインの進捗

2012年10月29日時点

2011年度決算発表時点(2012年5月8日)からの変更点

国内(自社開発)

自己免疫疾患

糖尿病・腎疾患

その他

 : ステージアップ

MT-1303
(多発性硬化症)

コレバイン
(高リン血症)

MT-4666
(アルツハイマー病)

MT-3995
(高血圧)

Phase 1

MP-435
(関節リウマチ)

コレバイン
(2型糖尿病)

Phase 2

TA-7906
(アトピー性皮膚炎)

レミケード
(難治性ベーチェット病,
小児クローン病、重症川崎
病、小児潰瘍性大腸炎、
乾癬増量)

TA-7284
(2型糖尿病)

テネリア/MP-513
(2型糖尿病・追加併用)

タリオン
(小児アレルギー鼻炎)

ラジカット
(ALS)

テラビック
(C型慢性肝炎・
ジェノタイプ2)

MP-214
(統合失調症)

Phase 3

承認

テネリア/MP-513
(2型糖尿病)

テトラビック/BK-4SP
(4種混合ワクチン)

グルトパ
(虚血性脳血管障害急性期
〔発症後4.5時間〕)

オメプラゾン
(ヘリコクターピロリ感染胃炎
における除菌補助)

メインテート
(慢性心房細動)

申請

VG-IH
(強皮症)

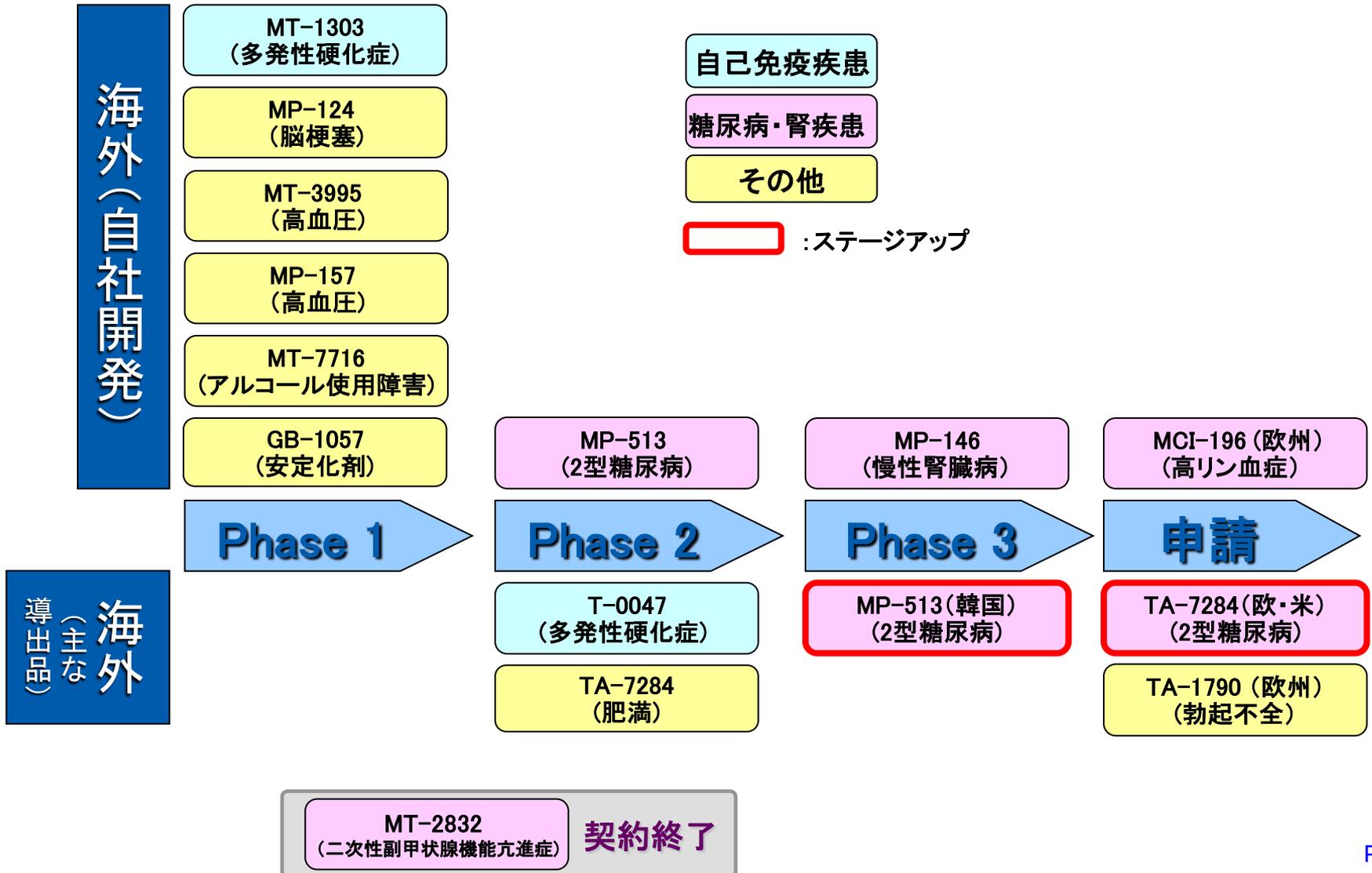
VG-IH
(免疫グロブリンG2欠乏症)

削除(血漿分画事業譲渡の為)

国内(主な導出品)

2012年10月29日時点

2011年度決算発表時点(2012年5月8日)からの変更点



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。